

No. 12

Dec. 2005

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。  
阿蘇は原点に返って復活する場所。  
素顔の阿蘇に触れ、  
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。



# 大陸

ASO Continent

# 南小国町 小田・満願寺 静かな里山の温泉集落

街の喧騒も、賑わう楽しい観光地も、今はいらない。  
南小国町の小さな温泉集落へ、  
静寂と湯気のぬくもりを求めて。



草太郎庵の露天風呂。貸切にはもったいないほど広い



(左) 皮も丸ごとひいたそばは歯ごたえがあり、のど越しは格別



草太郎庵

れのある瀟洒な旅館が混在する。しかし、里山や山間の水田、清らかな小川など、穏やかな農村風景が今もそこにある。

## 4つの部屋に 5つの温泉

団体客が減り始めた頃、父親が営んでいた民宿の廃業を考えた荒井さん。「小さい頃、祖母に連れられて行ったそば屋の味が忘れられず」、心算起して鳥根県でそば修行。平成12年にそば処を開店、民宿を旅館に改装して「草太郎庵」として再出発した。

旅館「草太郎庵」に部屋は4つ。温泉は貸切り利用で5つもある。格子窓から差し光が情緒たっぷりの石風呂と、香り豊かな桧風呂が内風呂、あとの3つが露天風呂だ。そして100パーセント源泉、かけ流し。あふれ続けるお湯がなんとも贅沢である。厚間立ち寄り客が来るそば処の座敷で夕食。料理のご飯をそ

## 小田の里山と湯

穏やかな景色が  
今も「JJ」に

「JJ」に温泉が出たのが昭和51年。翌年に民宿が1軒で「きたのが最初です」と教えてくれたのは、南小国町小田（おた）温泉で旅館とそば処を営む荒井邦生さん。その後、ゲートボールと温泉を楽しめる小田温泉民宿村として、福岡や熊本のお年寄りの団体を送迎つきで受け入れるようになった。人々の旅行スタイルが変化した団体客が減った現在、小田温泉には民宿や離

ばに変えることもできない。夏のメニューは、単品から和牛や地鶏の炭火焼が付く豪華な定食まで幅広い。そばはもちろん、定食の高菜飯も絶品である。

浴衣姿の人々が闊歩する賑わう湯場街もいけれど、「南小国の温泉場がみんな同じ色になってもつまらない」と荒井さんは言う。「小田温泉は、田んぼの合間に民宿や旅館がある静けさがいい。これから遊歩道などを整備し、温泉客がもっと自然に親しめる里山作りに取り組みます」



荒井さんは、旅館業のかたわら、毎日自らそばを打つ



直野製茶あぜみち



可憐な山野草や、さりげない雑木の配置が美しい庭から屋内に入ると、壁中にびっしりと作品が飾られている。小田温泉にある佐藤の美術「あぜみち」だ。佐藤さんの作品の素材はいちよつ。山野草や景色の絵と文字が、水彩絵の具と、ウッドパーマングという、焼付けで色の濃淡を出す技法を使って描かれている。表札にもなり、結婚式の贈り物にも人気があるそうだ。「表札を作ったあと、子どもさんが増えたりするでしょう。そうした

### 優しい絵に囲まれて



佐藤さんは、創作のかたわらのおしゃべりも楽しい、もと商社マン



瑞雲荘の温泉。ガラスの向こうに露天風呂もある

お湯も料理も体に優しい  
もう一つ、南小国町には「知る人ぞ知る」名湯、満願寺温泉

### 満願寺情緒

ら表面を薄く削って、もう二度名前を入れることが出来るんですよ」と佐藤さん。加工しやすいのがいちよつの特徴だという。木のぬくもりと、佐藤さんの絵や時の優しさに囲まれながら、のんびりとコーヒータイムを過ごしたい。

泉がある。  
旅館「瑞雲荘」は、山の斜面をうまく活かした造り。フロントがある母屋から宿泊棟までの路地は竹垣に挟まれ、京都の町屋の風情。部屋から温泉までは、まるで神社の回廊のような、細長い板張りの外廊下がうねうねと続く。廊下は途中で枝分かれし、離れの部屋にもつながる。母屋より高い位置にある温泉からは、眼下に民家の瓦屋根が見える。  
ご主人日野明文さんは、自らが包丁を握る。料理は野菜と豆腐のみを使用し、材料の調達範囲は宿から半径30km



(上) 民宿せらくの露天風呂。ほかに内風呂が3つある (右上) 民宿せらくの20畳の大広間 (右中) ストープ用の薪が積まれている民宿せらくの入口。(右下) 壊れていなかったせらくのご主人にかわり奥様真由美さん登場。「家族経営だけど、大変だと思ったことはありません」と、さすがの美肌で笑顔

民宿の魅力  
小田温泉で民宿スタイルを保ち続けるのが民宿「せらく」である。大きな柱、低い位置にある太い梁など、古い日本家屋の趣になんたかホッとする。旧館には5つの和室。そのうち2部屋は仕切りをはずすと20畳もの大広間になる。「大学生の団体さんなんか、自分たちで仕切りをはずしてしても、大勢で雑魚寝するのを楽しんでしょなあ」とご主人の佐藤哲志さんは苦笑い。新館にも10畳の2部屋をはじめ、4部屋がある。温泉は全部で4つあり、内風呂も露



天も若風呂で情緒たっぷり。失礼ながら、民宿のお風呂だからと侮っていると、きつと浴室のドアを開けた瞬間「おおっ」と驚くはずだ。そして「でも、100%源泉であるお湯は惜しげもなく湯船からあふれ続けている。  
「小田温泉は、何でこんなところに温泉が、と思うようなところですよもん」と笑うご主人。それが小田の魅力だ。民宿は、宿の人と宿泊客との距離が近い。ご主人の朴訥とした人柄に、「こんな出会いが旅のおもしろさ」と改めて感じる「ことができる」。



(右)リピーターが多く、新規のお客さんはほとんどが口コミという満願寺そば  
(左上)山の湧水でなければストックできないゆずび  
(左下)満願寺そば秋山さんと奥様の橋子さん。「熊本市出身ですが、ここの空気になれるともうあちらには住めなくなりました」  
※冬期は閉店していることがありますのでお問い合わせ下さい。  
TEL (0987) 42-1615



(左)湯場荘、玄関アプローチも風情たっぷり(右)床板の軋む音が、ひなびた雰囲気をかもし出す廊下(下)下ごしらえ中の日野さん。「将来は節風数を減らして、もっとこじんまりした宿にするつもりなんです」と、今後の計画を教えてください



という地産地消。「季節感を大事にした料理を心掛けています。肉や魚が欲しい人もいらつしやるでしょうが、食べてみれば満足してもらえらるはず。タレなどをつけながら食べる料理ではなく、素材を活かした味付けがされている料理は胃にもたれないという。肌を磨く温泉と体に優しい野菜料理。ヘルシー志向の女性にはたまらない宿だ。

### 大胆な露天風呂

満願寺温泉に公衆温泉「満願寺温泉館」ができたのは明治時代。昭和50年頃の現在の建物に建替えられた。タイル張りの浴槽や、使い込まれた脱衣所の雰囲気昭和を感じさせる。建物前の川に露天風呂

があるが、混浴で目の前には道路と民家。夜になると女性も入りに来るそうだが、そうなるに「女性のほうが大胆」とは、案内してくれた南小国町観光協会理事の後藤昭雄さんの言葉。「入っていくタイ」と言われたが、さすがに躊躇。露天風呂と川面は同じ高さで、魚がたたく泳いでいるのが見える。堂々と裸になって湯



に浸かるおじいちゃんが少しうらやましかった。

(上)露天風呂の上流側には野菜洗い場、下流側には洗濯場もある。入浴中におばちゃんが洗濯に来るかもしれない  
(右下)後藤昭雄(右)と田北興昭(ともあき)自治会長(左)。田北自治会長は、温泉館代表の4代目。温泉のお陰かとても元気なお二人は、満願寺の歴史にも詳しい



### 古民家で 薫り高いそばを

小田や満願寺温泉から少し離れ、車がやっと二台通れるほどの細い山間の田舎道を行くと、そば処「満願寺そば」がある。「たまたま通りかかって入ってくるお客さんは、まずいませんと、ご主人秋山源助さんが苦笑いするほど、周りは山と川、田んぼと畑のほかには何もない。建物は古い農家そのまま、幼い頃遊んだ祖父の家を思い出し、懐かしさで嬉しくなる。二八そばと、石臼で手ひきする十割そば(15食限定)があり、わざわざは満願寺立石地区産で、庭で湧水につけてストックしてある。薫り高いそばを堪能したら、裏の小山に降りてみよう。その清らかさに、そばやわさびのおいしさの源が見えるはずだ。



**クリスマスツリー・・・ツリーが彩るトンネル**

**第3回高森湧水トンネル クリスマスファンタジー**

高森湧水トンネル内が、約60基ものクリスマスツリーで彩られます。24、25日は、通路中央の水路にかがり火がたかれ、水面にツリーのライトと炎が揺らめきます。



- 期日／開催中～12月31日 AM9:00～PM6:00  
12月24・25日はPM8:00まで開放
- 場所／高森湧水トンネル
- 料金／中学生以上300円・小学生100円・小学生未満無料
- お問い合わせ／高森町役場商工観光課
- TEL:0967-62-1111

**イルミネーション・・・輝くクリスマスライトが夜を演出**



**乙姫ペンション村 イルミネーションフェスタ**

乙姫の各ペンションが、それぞれ趣向を凝らしたクリスマスライトでファンタスティックな夜を演出。イルミネーションで作られた巨大迷路も出現します。

- 期日／12月1日～25日 PM7:00～10:00
- 場所／乙姫ペンション村内
- お問い合わせ／乙姫ペンション村事務局
- TEL:0967-32-3391

**夜空・・・冬の夜空のイリュージョン**

**阿蘇クリスマス バルーンフェスティバル2005**

昼間はバルーンの競技飛行、夜はライトに浮かび上がる幻想的なバルーンイリュージョンや打ち上げ花火を楽しめます。写真コンテストなど楽しいイベントも盛りだくさん。



- 期日／12月23日 PM6:00～オープニング  
12月24日 AM8:00～競技飛行  
バルーンイリュージョン、花火 PM8:00～(両日とも)
- 場所／内牧 はな阿蘇美園辺「ふれあい水辺公園」
- 料金／気球体験搭乗1,000円
- お問い合わせ／阿蘇インフォメーションセンター
- TEL:0967-32-1960